

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号
特開2002-135427
(P2002-135427A)

(43)公開日 平成14年5月10日(2002.5.10)

(51)Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テーマコード*(参考)
H 0 4 M 3/487		H 0 4 M 3/487	5 B 0 4 9
G 0 6 F 17/60	3 2 6	G 0 6 F 17/60	3 2 6 5 K 0 1 5
	3 3 2		3 3 2 5 K 0 2 4
	5 0 6		5 0 6 5 K 0 2 5
H 0 4 Q 7/38		H 0 4 M 3/42	R 5 K 0 6 7
審査請求 未請求 請求項の数7 O L (全 8 頁) 最終頁に続く			

(21)出願番号 特願2000-327619(P2000-327619)

(22)出願日 平成12年10月26日(2000.10.26)

(71)出願人 000006747

株式会社リコー

東京都大田区中馬込1丁目3番6号

(72)発明者 園田 一磨

東京都大田区中馬込1丁目3番6号 株式
会社リコー内

Fターム(参考) 5B049 BB49 CC02 CC36 FF04 GG00
GG06

5K015 AB02

5K024 AA77 CC11 DD02

5K025 AA07 BB07 CC09 DD06

5K067 AA34 BB04 BB21 CC08 DD29

DD51 EE02 EE10 EE16 FF02

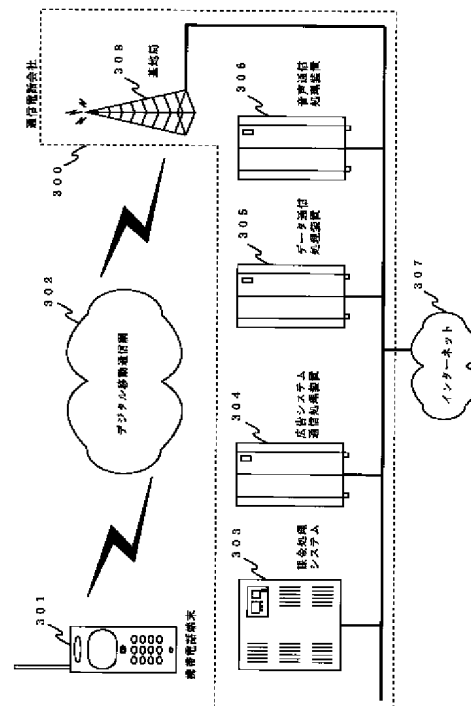
FF23

(54)【発明の名称】 携帯電話広告システム

(57)【要約】

【課題】 携帯電話端末を広告宣伝に有効に利用することができる携帯電話広告システムを提供する。

【解決手段】 通信電話会社300は、広告主からインターネット307などを介して送信された広告データをデジタル移動通信網302を介して携帯電話端末301に送信し、広告を表示させ、携帯電話端末301のユーザに広告表示終了後、割引料金あるいは無料で通信を行うサービスを一定時間提供する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 携帯電話端末のユーザと、通信電話会社と、広告主と、を有し、

前記通信電話会社は、前記広告主により提供された広告を前記携帯電話端末に表示させ、前記広告表示終了後の規定された時間、前記携帯電話端末による通信料金の一部あるいは全額を前記広告主に負担させる割引無料通信サービスをユーザに提供することを特徴とする携帯電話広告システム。

【請求項2】 前記規定された時間は、予め設定された時間、あるいは前記携帯電話端末が送受信したパケット数に基づいて規定されることを特徴とする請求項1記載の携帯電話広告システム。

【請求項3】 前記通信電話会社は、前記割引無料通信サービスが終了した際、前記携帯電話端末に再度前記広告を表示させ、前記割引無料通信サービスを再度ユーザに提供することを特徴とする請求項1または2記載の携帯電話広告システム。

【請求項4】 前記通信電話会社は、同一の前記携帯電話端末のユーザに対する前記割引無料通信サービスの回数を制限することを特徴とする請求項3記載の携帯電話広告システム。

【請求項5】 前記通信電話会社は、前記広告表示終了後の所定時間内に前記ユーザが前記携帯電話端末における所定の操作を行った場合、前記ユーザに前記割引無料サービスを提供し、前記広告表示終了後の所定時間内に前記ユーザが前記携帯電話端末における前記所定の操作を行わなかった場合、前記ユーザに前記割引無料サービスを提供することを停止することを特徴とする請求項1から4のいずれか1項に記載の携帯電話広告システム。

【請求項6】 前記ユーザは、前記携帯電話端末の使用契約時に自分の趣味嗜好を登録することを特徴とする請求項1から5のいずれか1項に記載の携帯電話広告システム。

【請求項7】 前記通信電話会社は、ネットワークを介して前記広告主から送信された広告データを登録することを特徴とする請求項1から6のいずれか1項に記載の携帯電話広告システム。

【発明の詳細な説明】**【0001】**

【発明の属する技術分野】本発明は、携帯電話広告システムに関し、携帯電話端末に広告を表示させた後の通信料金の一部あるいは全額を広告主に負担させる携帯電話広告システムに関する。

【0002】

【従来の技術】例えば、企業等が自社のサービスや販売商品などを広告宣伝する方法としては、様々な形態があるが、消費者各個人に向けての広告宣伝としては、ダイレクトメールを送る方法や、自社の広告宣伝が印刷された物品（例えばテレホンカード等）を無料で配布すると

いった方法があった。

【0003】ところが、これらは広告宣伝に費用がかかる割りには、その効果が十分でないのが実情であった。近年、携帯電話やPHSの爆発的な普及などに伴い、電話を様々な広告宣伝のために利用することが考えられている。

【0004】従来より行われている電話を利用した広告宣伝としては、イベント情報等を発信者の通話料金のみ負担にて知らせる情報サービスや、通話料金を着信者側が負担するフリーダイヤルと称されるサービス等があった。これらは、広告主側が電話帳やその他の各種メディア等を用いて広告宣伝に係る電話番号を知らせ、消費者側がその電話番号に電話を掛けることにより実現されるものである。

【0005】ところで、上記した情報サービス等は、広告主が自社あるいはその販売商品の広告宣伝に電話を有効に利用したいと考えても、広告主側はあくまでも電話が掛かってくるのを待つ受け身の姿勢にあり、使用者側（商品を購入したりサービスを受ける消費者側）が能動的に電話を掛けることにより広告宣伝の効果が生ずるものとなっている。

【0006】この場合、広告宣伝の効果を高めるためには、広告宣伝用の電話番号を消費者側に広く知らしめて積極的に電話を掛けてもらうことが必要となるが、従来では、そのための十分に有効となる手段は講じられてはいなかった。特に、携帯電話等の移動通信用の電話機にあっては、電話帳等を身近に置いて電話を掛けるという使い方がなされにくいので、広告宣伝用の電話番号を広く知らしめることすら難しかった。

【0007】尚、上述のように、広告主が自社の広告宣伝（電話番号）入りのテレホンカードを配布することも考えられるが、使用者が必ずしもそのテレホンカードに印刷された電話番号に電話を掛けるとは限らず、さほどの広告宣伝の効果は期待できない。

【0008】上記のような問題点を解決する発明としては、特開平11-191817号公報が開示するところのカード式電話装置（以下、従来例1）がある。従来例1には、ユーザが広告ダイヤルで通話することにより一定時間通話料が無料になるサービスを有する電話装置に関して記載されており、携帯電話機本体に様々な情報が格納されているカードを接続することにより、上記のサービスが管理されていた。

【0009】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、従来例1においては、カードを接続しなければ、上記のサービスを受けることができないため、常時カードを携帯する必要があるといった問題点があった。

【0010】本発明は、上記問題点に鑑みてなされたものであり、従来例1におけるカードのようなものを接続させることなく、携帯電話端末を広告宣伝に有効に利用

することができる携帯電話広告システムを提供することを目的とする。

【0011】

【課題を解決するための手段】かかる目的を達成するため、請求項1記載の発明によれば、携帯電話端末のユーザと、通信電話会社と、広告主と、を有し、通信電話会社は、広告主により提供された広告を携帯電話端末に表示させ、広告表示終了後の規定された時間、携帯電話端末による通信料金の一部あるいは全額を広告主に負担させる割引無料通信サービスをユーザに提供することを特徴とする。

【0012】以上説明したように、請求項1記載の発明によれば、携帯電話端末に広告が表示された後、携帯電話端末のユーザが割引無料通信サービスを提供されることによって、携帯電話端末のユーザは、通信料金が削減され、経済的利益を得ることが可能となる。また、広告主にとっては、広告効果を期待することが可能となる。

【0013】また、請求項2記載の発明によれば、請求項1記載の携帯電話広告システムにおいて、規定された時間は、予め設定された時間、あるいは携帯電話端末が送受信したパケット数に基づいて規定されることを特徴とする。

【0014】従って、請求項2記載の発明によれば、割引無料通信サービスが提供される時間に所定の制限を設けることによって、広告主に無制限の経済的負担を与えることを抑制することが可能となる。

【0015】また、請求項3記載の発明によれば、請求項1または2記載の携帯電話広告システムにおいて、通信電話会社は、割引無料通信サービスが終了した際、携帯電話端末に再度広告を表示させ、割引無料通信サービスを再度ユーザに提供することを特徴とする。

【0016】従って、請求項3記載の発明によれば、割引無料通信サービスが終了した際、携帯電話端末に再度広告を表示させ、割引無料通信サービスを再度ユーザに提供することによって、広告主にとってより高い広告宣伝効果を得ることが可能となり、携帯電話端末のユーザは更なる経済的利益を得ることが可能となる。

【0017】また、請求項4記載の発明によれば、請求項3記載の携帯電話広告システムにおいて、通信電話会社は、同一の携帯電話端末のユーザに対する割引無料通信サービスの回数を制限することを特徴とする。

【0018】従って、請求項4記載の発明によれば、同一の携帯電話端末のユーザに対する割引無料通信サービスの回数を制限することによって、広告主に無制限の経済的負担を与えることを抑制することが可能となる。

【0019】また、請求項5記載の発明によれば、請求項1から4のいずれか1項に記載の携帯電話広告システムにおいて、通信電話会社は、広告表示終了後の所定時間内にユーザが携帯電話端末における所定の操作を行った場合、ユーザに割引無料サービスを提供し、広告表示

終了後の所定時間内にユーザが携帯電話端末における所定の操作を行わなかった場合、ユーザに割引無料サービスを提供することを停止することを特徴とする。

【0020】従って、請求項5記載の発明によれば、広告表示終了後一定時間内に所定の動作（#キー押下など）を行ったときのみ、割引料金や無料で通信できるようにすることによって、携帯電話端末のユーザには、割引無料通信サービスを受けるために広告の閲覧を表示終了まで継続させる必要が生じ、広告主は、より効果的な広告宣伝を行うことが可能となる。

【0021】また、請求項6記載の発明によれば、請求項1から5のいずれか1項に記載の携帯電話広告システムにおいて、ユーザは、携帯電話端末の使用契約時に自分の趣味嗜好を登録することを特徴とする。

【0022】従って、請求項6記載の発明によれば、ユーザは、携帯電話端末の使用契約時に自分の趣味嗜好を登録することによって、自分の趣味嗜好にあった広告を閲覧することが可能となり、広告主は、より効果的な広告宣伝およびマーケティングを行うことが可能となる。

【0023】また、請求項7記載の発明によれば、請求項1から6のいずれか1項に記載の携帯電話広告システムにおいて、通信電話会社は、ネットワークを介して広告主から送信された広告のデータを登録することを特徴とする。

【0024】従って、請求項7記載の発明によれば、通信電話会社は、ネットワークを介して広告主から送信された広告のデータを登録することによって、広告収集に費やされる時間および経費を削減することが可能となる。

【0025】

【発明の実施の形態】（第1の実施形態の構成）図1は、本発明の第1の実施形態における携帯電話端末の構成を示すブロック図である。携帯電話端末は、少なくとも、アンテナ101と、送受信部102と、データ変換部103と、音声処理部104と、スピーカ105と、マイクロフォン106と、キー操作部107と、表示部108と、表示部操作装置109と、制御回路部110と、記憶部111と、を有する。以下、図1を用いて本実施形態における携帯電話端末の構成および各部位の機能について説明する。

【0026】図1に示されているように、携帯電話端末には、マイコン等から構成され全体の制御を行う制御回路部110が設けられていると共に、この制御回路部110に接続された送受信部102、データ変換部103、および音声処理部104が設けられている。

【0027】音声処理部104には、マイクロフォン106とスピーカ105とが接続されていると共に、データ変換部103が接続され、このデータ変換部103に送受信部102が接続され、この送受信部102にはアンテナ101が接続されている。

【0028】そして、制御回路部110には、キー操作部107および、表示部操作装置109の操作信号が入力されるようになっており、制御回路部110が表示部108の表示を制御するようになっている。また、制御回路部110には、記憶部111が接続されており、その記憶部111には、通信、HTML、およびXMLに係る制御プログラムや各種のデータが記憶されている。

【0029】かかる構成により、通話時においては、アンテナ101で受信した信号が送受信部102により通信データに変換され、その通信データがデータ変換部103により音声データに変換され、その音声データが音声処理部104により送話信号とされてスピーカ105から出力されるようになっている。

【0030】一方、マイクロフォン106から入力される受話信号は、音声処理部104により音声データに変換され、その音声データがデータ変換部103により通信データに変換され、その通信データが送受信部102により送信信号に変換されてアンテナ101から出力されるようになっており、以上の動作により、通話機能が

実現されるようになっている。

【0031】また、待ち受け時においては、アンテナ101で受信した信号が送受信部102により通信データに変換され、その通信データがデータ変換部103により表示データに変換され、その表示データが制御回路部110をとって表示部108へ表示されるようになっている。

【0032】一方、表示部操作装置109から入力される操作信号は、データ変換部103により通信データに変換され、その通信データが送受信部102により送信信号に変換されてアンテナ101から出力されるようになっている。これにて、広告表示および、インターネットホームページ閲覧機能が実現されるようになっている。

【0033】図2は、本発明の第1の実施形態における携帯電話端末を示す図である。携帯電話端末は、少なくとも、アンテナ201と、スピーカ202と、表示部203と、表示部操作装置204と、キー操作部205と、マイクロフォン206と、を有する。また、最近のインターネットブラウザ内蔵型の端末のように、表示部操作装置204は、表示部203のカーソル操作を行う。

【0034】図3は、本発明の第1の実施形態における携帯電話広告システムを示す図である。携帯電話広告システムは、携帯電話端末301と、デジタル移動通信網302と、通信電話会社300と、インターネット307と、を有し、通信電話会社300は、課金処理システム303と、広告システム通信処理装置304と、データ通信処理装置305と、音声通信処理装置306と、基地局308と、を有する。以下、図3を用いて、本実

施形態における携帯電話広告システムの構成および各部位の機能について説明する。

【0035】携帯電話端末301は、デジタル移動通信網302を介して基地局308と接続されており、さらに、基地局308を介して課金処理システム303、広告システム通信処理装置304、データ通信処理装置305、音声通信処理装置306、およびインターネット307と通信を行う。

【0036】音声通信処理装置306は通常の音声による通信を行う。広告システム通信処理装置304では、広告主からの広告データを携帯電話端末301へ送信する。広告データは携帯電話端末301の使用者が端末契約時に自分の趣味嗜好などを登録しておくことにより、それぞれの携帯電話端末301に異なる広告内容を送信することができる。

【0037】データ通信処理装置305では、携帯電話端末301からの要求によりインターネット307を通し、様々なwebサーバへ接続する。課金処理システム303は、通常データ通信、音声通信の通話料の課金処理を行うとともに、本システム使用者に経済的利益を供与する料金割引などの処理をおこなう。また、広告データに含まれるリンクを閲覧した際にも、使用者にキャッシュバックなどの経済的利益を供与する。このような携帯電話端末301の使用者の経済的利益は、広告主の負担によりまかなわれる。

【0038】(第1の実施形態の動作) 図4は、本発明の第1の実施形態における携帯電話広告システムの動作を示すフローチャートである。以下、図1および図3を用い、図4に沿って本発明の第1の実施形態における携帯電話広告システムの動作について説明する。

【0039】接続先を指定した接続すると通信が開始され(ステップS401)、広告システム通信処理装置304から広告データが送られ、携帯電話端末301の表示部108に表示される(ステップS402)。広告表示終了時点から一定の期間内ならば使用者所望の通信が割引料金や無料で通信を行うことができる(ステップS403)。この通信料は広告主の広告料から負担される。

【0040】また、割引料金および無料により行われる通信は、予め設定された時間だけ可能としてもよいし、携帯電話端末301が送受信するデータ量(パケット数)が一定の量を超えるまで可能としてもよい。

【0041】(第2の実施形態の構成) 本発明の第2の実施形態の構成は、図1から図3に示されている第1の実施形態と同様の構成をとる。

【0042】(第2の実施形態の動作) 図5は、本発明の第2の実施形態における携帯電話広告システムの動作を示すフローチャートである。以下、図1および図3を用い、図5に沿って、本発明の第2の実施形態における携帯電話広告システムの動作について説明する。

【0043】接続先を指定した接続すると通信が開始され(ステップS501)、広告システム通信処理装置304から広告データが送られ、携帯電話端末301の表示部108に表示される(ステップS502)。表示が終わると一定の時間内、使用者所望の通信が割引料金や無料で行うことが出来る(ステップS503)。これには広告主の広告料から負担される。

【0044】広告表示後、一定時間が経過したか否かを判断する(ステップS504)。広告表示後、一定時間が経過していないと判断された場合は(ステップS504/No)、割引/無料通信が継続される(ステップS503)。

【0045】一定時間が経過したと判断された場合は(ステップS504/Yes)、割引/無料通信が終了する(ステップS505)。通信自体を終了させるか否かを判断し(ステップS506)、通信を継続させない場合は(ステップS506/Yes)、動作全体を終了させる。

【0046】通信を継続させる場合は(ステップS506/No)、再度広告が表示され(ステップS502)、割引/無料通信が開始される(ステップS503)。このように、割引/無料通信の期間が終了した後、再度広告を表示し、広告表示終了後、再度割引/無料通信を行うことができる。このステップS506からステップS503の動作は、ユーザからの要求により何度繰り返して実行されてもよいし、あるいは、上記のステップS506からステップS503の動作の回数に予め制限を設定してもよい。

【0047】また、本実施形態においては、広告表示終了から一定時間経過後に割引/無料通信が終了するように設定されていたが、携帯電話端末301が送受信する通信データ量が一定の量を超えた際に割引/無料通信が終了するように設定してもよい。

【0048】(第3の実施形態の構成)本発明の第3の実施形態の構成は、図1から図3に示されている第1の実施形態と同様の構成をとる。

【0049】(第3の実施形態の動作)本発明の第3の実施形態においては、広告表示終了後に所定の操作(＃キー押下など)を行った場合、割引/無料通信を行うことができ、操作が行われなかった場合は端末使用者が広告を見ていなかったと判断し、通常料金での通信に切り替わるように設定されている。

【0050】図6は、本発明の第3の実施形態における携帯電話広告システムの動作を示すフローチャートである。以下、図1および図3を用い、図6に沿って、本発明の第3の実施形態における携帯電話広告システムの動作について説明する。

【0051】接続先を指定した接続すると通信が開始され(ステップS601)、広告システム通信処理装置304から広告データが送られ、携帯電話端末301の表

示部108に表示される(ステップS602)。

【0052】広告表示終了後の一定時間内に所定の操作があったか否かを判断し(ステップS603)、所定の操作があったと判断された場合は(ステップS603/Yes)、割引/無料通信が開始される(ステップS604)。また、所定の操作があったと判断されなかった場合には(ステップS603/No)、割引/無料通信が提供されないで、通常通信により通信が行われる(ステップS605)。

【0053】

【発明の効果】以上説明したように、請求項1記載の発明によれば、携帯電話端末に広告が表示された後、携帯電話端末のユーザが割引無料通信サービスを提供されることによって、携帯電話端末のユーザは、通信料金が削減され、経済的利益を得ることが可能となる。また、広告主にとっては、広告効果を期待することが可能となる。

【0054】また、請求項2記載の発明によれば、割引無料通信サービスが提供される時間に所定の制限を設けることによって、広告主に無制限の経済的負担を与えることを抑制することが可能となる。

【0055】また、請求項3記載の発明によれば、割引無料通信サービスが終了した際、携帯電話端末に再度広告を表示させ、割引無料通信サービスを再度ユーザに提供することによって、広告主にとってより高い広告宣伝効果が得ることが可能となり、携帯電話端末のユーザは更なる経済的利益を得ることが可能となる。

【0056】また、請求項4記載の発明によれば、同一の携帯電話端末のユーザに対する割引無料通信サービスの回数を制限することによって、広告主に無制限の経済的負担を与えることを抑制することが可能となる。

【0057】また、請求項5記載の発明によれば、広告表示終了後一定時間内に所定の動作(＃キー押下など)を行ったときのみ、割引料金や無料で通信できるようにすることによって、携帯電話端末のユーザには、割引無料通信サービスを受けるために広告の閲覧を表示終了まで継続させる必要が生じ、広告主は、より効果的な広告宣伝を行うことが可能となる。

【0058】また、請求項6記載の発明によれば、ユーザは、携帯電話端末の使用契約時に自分の趣味嗜好を登録することによって、自分の趣味嗜好にあった広告を閲覧することが可能となり、広告主は、より効果的な広告宣伝およびマーケティングを行うことが可能となる。

【0059】また、請求項7記載の発明によれば、通信電話会社は、ネットワークを介して広告主から送信された広告のデータを登録することによって、広告収集に費やされる時間および経費を削減することが可能となる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の第1の実施形態における携帯電話端末の構成を示すブロック図である。

10

20

30

40

50

【図2】本発明の第1の実施形態における携帯電話端末を示す図である。

【図3】本発明の第1の実施形態における携帯電話広告システムを示す図である。

【図4】本発明の第1の実施形態における携帯電話広告システムの動作を示すフローチャートである。

【図5】本発明の第2の実施形態における携帯電話広告システムの動作を示すフローチャートである。

【図6】本発明の第3の実施形態における携帯電話広告システムの動作を示すフローチャートである。

【符号の説明】

101、201 アンテナ

102 送受信部

103 データ変換部

104 音声処理部

105、202 スピーカ

106、206 マイクロフォン

107、205 キー操作部

108、203 表示部

109、204 表示部操作装置

110 制御回路部

111 記憶部

300 通信電話会社

301 携帯電話端末

302 デジタル移動通信網

303 課金処理システム

304 広告システム通信処理装置

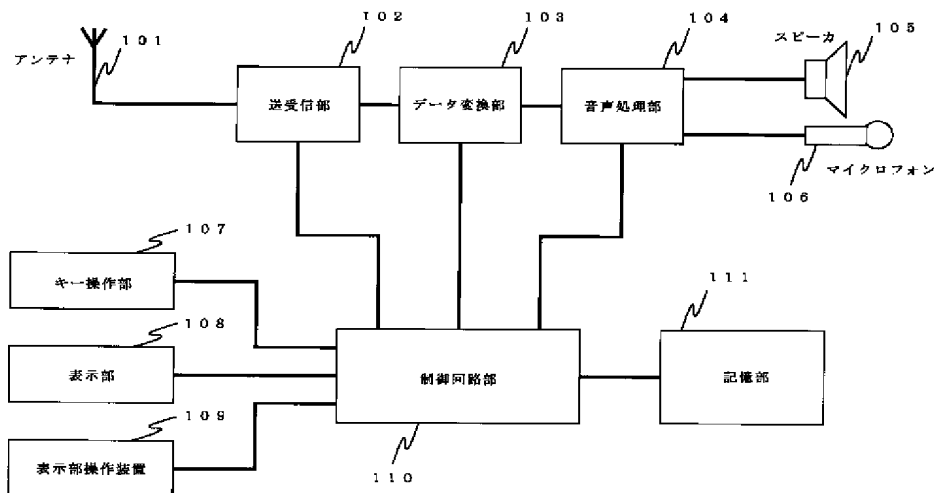
305 データ通信処理装置

306 音声通信処理装置

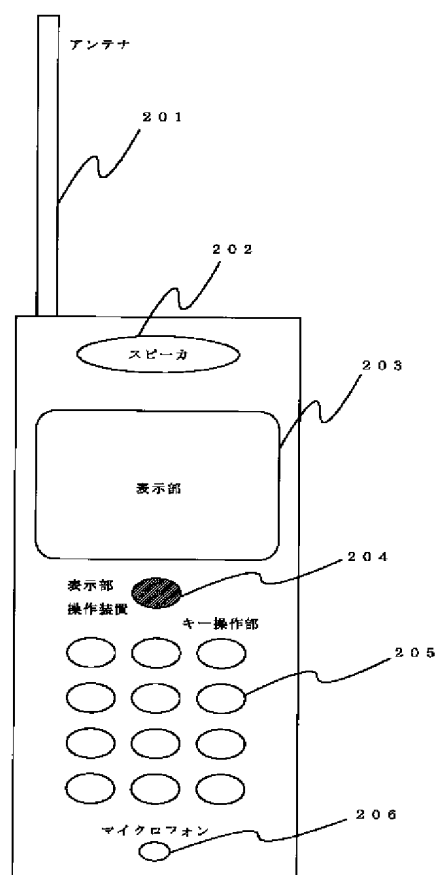
307 インターネット

308 基地局

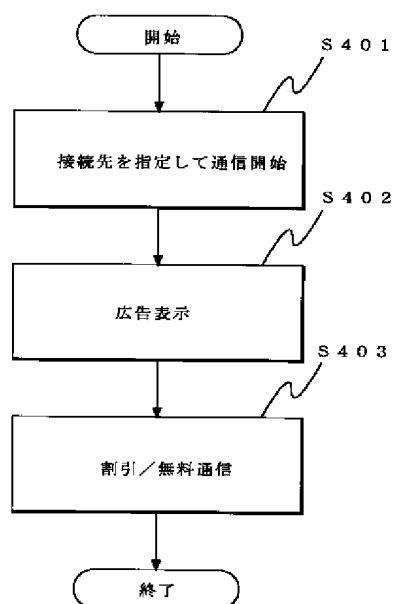
【図1】



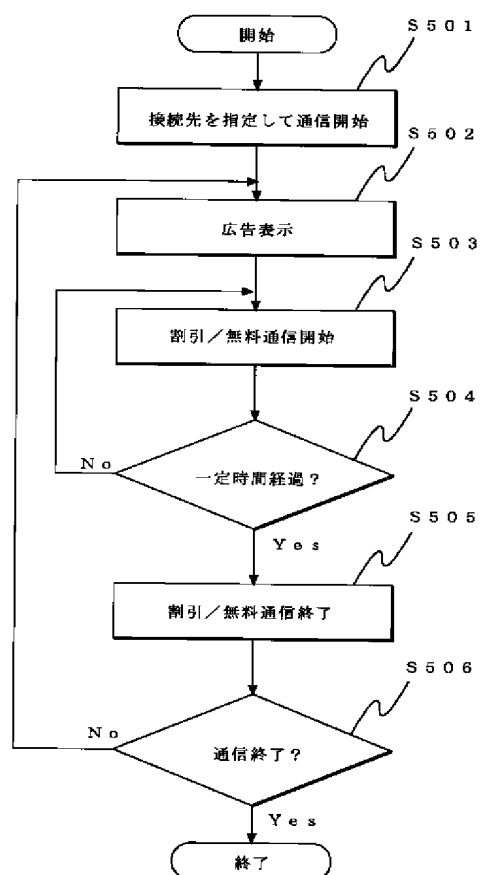
【図2】



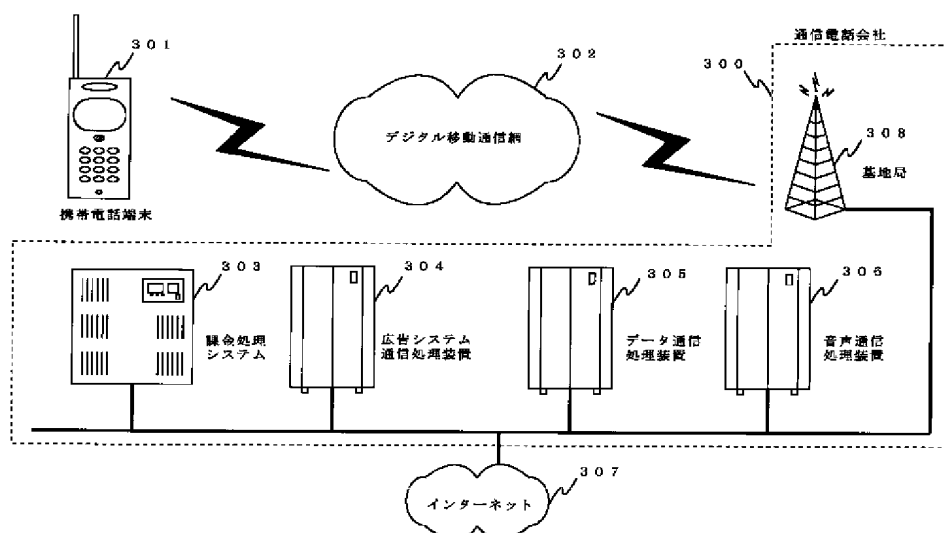
【図4】



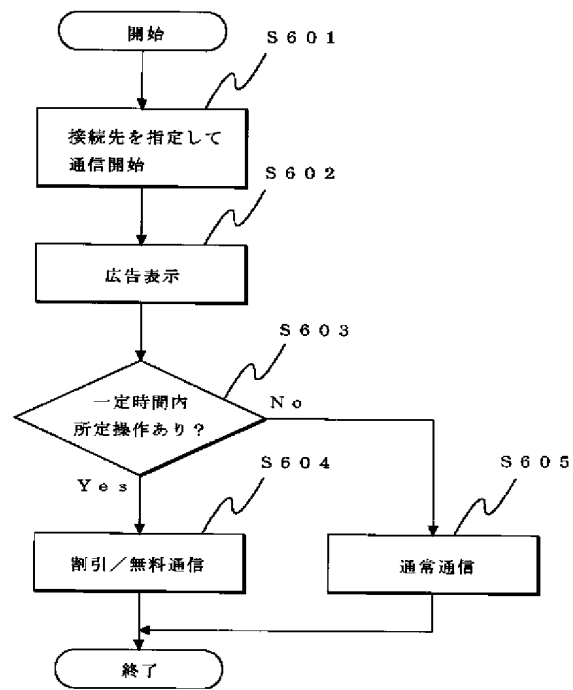
【図5】



【図3】



【図6】



フロントページの続き

(51)Int. Cl.⁷

H04M 3/42

15/00

識別記号

FI

H04M 3/42

15/00

H04B 7/26

H04Q 7/04

テームート' (参考)

Z

G

Z

109M

D

PAT-NO: JP02002135427A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 2002135427 A
TITLE: MOBILE PHONE ADVERTISEMENT
SYSTEM
PUBN-DATE: May 10, 2002

INVENTOR-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
SONODA, KAZUMA	N/A

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
RICOH CO LTD	N/A

APPL-NO: JP2000327619
APPL-DATE: October 26, 2000

INT-CL (IPC): H04M003/487 , G06F017/60 ,
H04Q007/38 , H04M003/42 ,
H04M015/00

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a mobile phone advertisement system that can effectively utilize mobile phone terminals for advertisement.

SOLUTION: A communication phone company 300 transmits advertisement data received from sponsors via the Internet 307 or the like to

mobile phone terminals 301 through a digital mobile communication network 302, allows the mobile phone terminals to display the advertisement data, and provides a service of communication at a discount charge rate or a free of charge for a prescribed time to users of the mobile phone terminals 301 after the end of display of the advertisement data.

COPYRIGHT: (C) 2002, JPO